

八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (案)



八 幡 平 市

《計画期間：2015－2019》

平成 27 年 月

目次

第1章	はじめに	1
1	八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方	1
2	計画の期間	1
3	市総合計画との関係	1
4	計画の進行管理	1
第2章	目指すべき人口の将来展望（人口ビジョンを踏まえて）	2
1	将来の人口に関する課題	2
2	将来の人口に関する基本方針	3
第3章	政策の基本目標	4
1	人口回復に向けてのまちづくりの課題	4
2	人口回復に向けて活かすべき本市の特性	5
3	政策の基本目標	6
4	基本目標における基本的方向と数値目標	7
第4章	基本目標ごとの施策（プロジェクト）と重要業績評価指標（KPI）	9
基本目標①	八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造	9
プロジェクト①	八幡平市の農（みのり）と輝（ひかり）のブランド強化プロジェクト	9
プロジェクト②	大学等連携による産業・雇用・人材強化プロジェクト	10
プロジェクト③	地熱エネルギーを活かした地域活性化プロジェクト	11
プロジェクト④	農（みのり）と輝（ひかり）の職場アピールプロジェクト	11
基本目標②	八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る	12
プロジェクト⑤	健康リゾート強化プロジェクト	12
プロジェクト⑥	広域スポーツイベント・合宿の拠点づくりプロジェクト	13
プロジェクト⑦	観光客もてなし体制強化プロジェクト	13
プロジェクト⑧	観光マネジメント体制強化（日本版DMO）に教育旅行活性化プロジェクト	14
プロジェクト⑨	日本版CCRC（生涯活躍のまち）構想プロジェクト	14
基本目標③	八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む	16
プロジェクト⑩	若者等の定住促進プロジェクト	16
プロジェクト⑪	子育て支援サポートプロジェクト	16
プロジェクト⑫	出会い・縁づくりサポートプロジェクト	17
基本目標④	各地域の元気を活かしたコンパクトなまちづくりにより持続性を高める	18
プロジェクト⑬	地域拠点（小さな拠点）等活性化プロジェクト	18
プロジェクト⑭	自然の恵みと共生する資源循環型まちづくりプロジェクト	18
プロジェクト⑮	八幡平市全国プロモーション・プロジェクト	19
プロジェクト⑯	協働のまちづくり活性化プロジェクト	19
プロジェクト⑰	広域連携強化プロジェクト	20

第1章 はじめに

1 八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方

本総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第9条の規定に基づき、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略（平成26年12月27日閣議決定）を勘案して策定するものです。総合戦略と同時に取りまとめた本市人口ビジョンを踏まえて、人口減少に歯止めをかけるとともに、持続可能な地域づくりを目指します。

総合戦略は、基本目標に基づき、今後5年間の施策の基本的方向や具体的な施策、数値目標を示すとともに、次の基本的な考え方に基づいて取り組んでまいります。

(1) まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻します。

(2) 従来の施策の検証を踏まえ、「まち・ひと・しごと創生」政策5原則に基づき、施策を展開します。

「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

- ・ 自立性 自立を支援する施策
- ・ 将来性 夢を持つ前向きな施策
- ・ 地域性 地域の実情を踏まえた施策
- ・ 直接性 直接の支援効果のある施策
- ・ 結果重視 結果を迫及する施策

2 計画の期間

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略と合わせ、平成27（2015）年度から平成31（2019）年度までの5年間とします。

3 市総合計画との関係

市総合計画は、市政全般にわたる政策や施策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定めている計画です。これに対し、本総合戦略は、国・岩手県の総合戦略を勘案し、人口減少に歯止めをかけることを目的に策定するものであり、総合計画の関係する分野を展開するための戦略として位置付けられるものとなります。

4 計画の進行管理

本総合戦略は、基本目標に即して達成すべき成果目標（数値目標）や施策の効果を客観的に確認できる重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCAサイクル¹による効果検証・改善を行うとともに、社会経済情勢や国・県の動向等も踏まえつつ、必要に応じて改善や追加、変更等の見直しを行います。

総合戦略の進捗管理は、「八幡平市まち・ひと・しごと創生有識者会議」に諮り、有効かつ着実な計画の実現を図っていきます。

¹ PDCAサイクル；計画(plan)→実行(do)→評価 (check)→改善(act)という4段階の活動を繰り返し行なうことで、継続的にプロセスを改善していく手法のこと。

第2章 目指すべき人口の将来展望（人口ビジョンを踏まえて）

1 将来の人口に関する課題

(1) 人口減少加速化の抑制

本市の人口は、長く減少傾向が続いていますが、平成12年（2000年）以降は、減少が加速化しています。社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の推計では、平成22年（2010年）の人口28,678人が、平成52年（2040年）には16,465人と57%程度に落ち込むものと想定されています。

人口の大幅な減少は、税収や地域内消費等の減少や、それに伴う公共施設・サービスの維持や新たな投資の困難化、コミュニティの衰退、空き地・空き家・耕作放棄地の増大など、まちの活力へのマイナス影響が懸念されることから、人口減少傾向に歯止めをかけていくことが急務です。

(2) 人口の自然減（特に出生者数減少の抑制）

人口の自然増減は、平成7年（1995年）に死亡者数が出生者数を上回り、自然減に転じています。死亡者数の増加は、老年人口²の増加の影響と想定されるとともに、出生者数の減少は、女性人口の減少、未婚率の上昇、出生率の低迷等の影響と想定されます。

出生者数の減少は、学校・保育所等の維持にマイナスの影響が懸念されることから、改善を図っていくことが必要です。

また、老年人口の増加に対し、健康寿命の増進を図っていくことも必要です。

(3) 人口の社会減（特に若年層の流出と抑制）

人口の社会減は、転入者の減少と、それを上回る転出者の増加により、社会減（人口流出）の傾向が続いています。

転出は、進学や就職理由による若年層（高卒～大卒時期）の流出が主な要因となっており、女性は、それに加えて34歳位まで結婚が要因と想定される流出もみられます。

社会減、とりわけ若年層の減少（流出）は、生産年齢人口³の減少や、まちの活力・未来の発展を担う人材の不足など、まちの活力へのマイナス影響が懸念されることから、改善を図っていくことが必要です。

(4) 人口年齢構成バランスの悪化

本市人口の年齢構成は、年少⁴・生産年齢人口の減少、老年人口の増加により、少子化と老年人口比率の増大が一層進展しています。

社人研の推計では、平成22年（2010年）の老年人口比率31.9%が、平成52年（2040年）には47.5%と概ね2人に1人が高齢者となるものと想定されています。

このことにより、医療・福祉・介護費用の増大、公共施設・サービス維持や新たな投資の困難化、まちの機能やコミュニティの衰退など、まちの活力へのマイナス影響が懸念されることから、人口年齢構成バランスの改善を図っていくことが必要です。

(5) 交流人口の拡大

人口減少により、まちの活力の低下が懸念される中で、定住人口だけではなく、観光客等の交流人口を増加させて、経済波及効果の拡大を図り、まちの活力の維持・増進を図っていくことが有効かつ必要です。

² 老年人口;65歳以上の人口のこと。

³ 生産年齢人口;15～64歳の人口のこと。

⁴ 年少人口;0～14歳の人口のこと。

2 将来の人口に関する基本方針

1の将来の人口に関する課題を踏まえ、市が目指す人口の将来方向（将来人口に関する基本方針）として、以下の方向を目指します。

(1) 若年層・女性・子育て層の移住・定住促進による人口回復と年齢構成の改善

雇用環境の充実と併せて、流出抑制とUIターン⁵意向者の吸引を図り、次世代を牽引する子どもたちや学生、子育て層や生産年齢層が、住み続けたい、働きたい、帰りたいと思えるまちづくりを目指すことにより、人口回復と年齢構成バランスの改善を図ります。

〔女性・結婚・出産・子育て層の増大〕

結婚・出産・子育てをしやすい環境を充実していくことにより、女性人口、結婚数、出生率、出産数の増大を図るとともに、子育て世代の定着化と流入促進を図ります。

〔若者・生産年齢人口および雇用人口の増大〕

雇用環境や若者が活躍し生きがいをもてる環境を充実していくことにより、若者や生産年齢人口の定着化と地元就職率向上、さらにはUIターン意向者等の流入促進を図り、雇用拡大による昼間人口の増大と各種経済活動の活性化を図ります。

(2) 高齢者の元気増進、観光客入込みや市民活動量の増大、八幡平ファン拡大等によるまちの活力強化

人口減少の抑制に取り組む一方で、まちの活力や市民の暮らしの質を短中期的に維持・向上させていくために、高齢者の元気増進や観光入込み客の拡大、市民等の活動量（交流や地域貢献活動など）の増大を目指していくものとします。

また、八幡平市が大好きなひと（ファン）を市内外に増やしていくことにより、ファンがファンを呼び、支えあうネットワークの強化を目指していくものとします。

〔健康で元気な高齢者の増大〕

健康スポーツ関連の多様な地域資源を最大限に活用しつつ、市民の健康増進活動を活性化することにより、将来増大する後期高齢者⁶の要介護者数の抑制と健康長寿の実現を図ります。

〔観光交流人口（観光入込み客数）の増大〕

国際・広域的な観光入込み客数や宿泊者数の増加を図っていくことにより、観光交流人口（観光入込み客数）の増大を図り、各種経済活動の活性化や、まちの賑わい強化を図ります。

〔各地域における市民等の活動量（交流や地域貢献活動など）の増大〕

生涯学習・創作活動・交流活動や地域貢献活動など、各地域の観光・交流資源等を活かした市民の生きがい増進やいきいきとした暮らしの実現につながるような活動の増大（外部支援者との交流も含めて）を図り、各地域の元気の維持増進を図ります。

〔八幡平市が大好きな人やファンの増大〕

地方創生を契機とする一層の都市間競争の激化が想定される中において、効果的効率的にまちの人口や活力の維持増進を図っていくためには、本市の魅力である「豊かな自然の中で、地の恵みを享受しながら、五感にわたる感動や、心のやすらぎや癒しを体感するとともに、人との絆を大切にしながら、健康を育み、心豊かな暮らしを実現する」ライフスタイルを最大限に高め、そこに共感して、住み、働き、遊び、憩う人を増やしていくことが重要であり、八幡平市が大好きな人やファンの拡大を図ります。

5 UIターン;Uターンは就職等で地方を離れた者が出身地に戻ることに、Iターンは、大都市等から地方に移住すること。

6 後期高齢者;75歳以上の高齢者のこと。

第3章 政策の基本目標

1 人口回復に向けてのまちづくりの課題

(1) 若者にも魅力ある雇用の強化

定住意向に係る市民意向調査では、現在の市への評価が最も低いのは「雇用・働き先の充実」となっており、若年層（高卒～大卒時期）流出の大きな要因となっています。

県外在住者に対する雇用に関するニーズ調査では、「希望職種がない、将来性・事業性・安定性や収入面への不安」等が市内就職への問題点として挙げられており、若者にも魅力度の高い雇用の場の確保が必要です。一方では、市内企業の人材確保の厳しさや後継者不足も問題となっており、地元企業や産業への愛着や誇りの醸成と人材確保を進めていくことも必要です。

(2) 出生率の向上につながる環境づくり

出生率のアップに向けては、市民意識調査の中で子育て環境に対し、ニーズの高い「子どもの医療費助成」や「子育てをしやすい職場環境づくり」への対応とともに、市内における婚姻数の増大や早期婚姻数の増大、子育てをしやすい環境づくり（子どもが日常的に遊べる公園等の空間など）、結婚や妊娠・出産（マタニティーライフ全般）に係る支援の充実が必要です。

(3) 観光交流人口やU I ターンの増加につながる魅力の強化

交流人口の拡大に向けては、観光交流人口について、宿泊型・回遊（滞留）型や通年型・リピート型観光客の増大を図るとともに、外国人旅行者や教育観光等の広域的な集客強化を図っていくことが必要です。また、短期宿泊体験を通じて、八幡平市の魅力を発信する手段として、一時居住・季節居住や2地域居住を進め、U I ターンにつなげていくような取組みが有効です。

(4) 地域活力の維持増進や健康増進に留意したまちづくり

まちを構成する各地域の活力の維持・増進に留意した持続性のあるまちづくりが重要であり、各地域の拠点施設等の機能集積を活かした拠点地区の魅力向上や、地域の安心を支える体制や交通ネットワークの維持・増進等を検討していくことが必要です。

また、老年人口の増加が進む中であって、高齢者の健康寿命の増大につながる健康増進や生きがい対策に留意したまちづくりも大切です。

(5) 広域連携や官民連携、プロモーションの強化等による効果的なまちづくり

当面の5カ年を目標年次とする総合戦略において、効果的に人口回復やそのための施策展開を実現していくためには、地元（市民・企業・各種団体等）や大学・研究機関等も含めた幅広い官民連携や盛岡広域圏で連携した共通課題への対策など、関係者が協働で取り組んでいくことが重要です。

また、重要課題や将来方向を関係者が共有するとともに、小さな成功事例を積み上げ、周辺に波及させ、拡大させていく取組みが大切であることから、内外関係者へのプロモーション活動を強化し、実行・支援体制を徐々に強化していく方向が重要です。

2 人口回復に向けて活かすべき本市の特性

本市には、以下のように、豊かな自然を背景として、美しくやすらぎある環境、特色ある農業、豊富な観光資源等を有しています。

本総合戦略においては、まちの魅力・強みを構成している資源を最大限に活かしていきます。

(1) 豊かな自然

- ① 豊かな自然（岩手山・八幡平・安比高原などの恵まれた自然環境）
 - ☆ 日本百名山の岩手山・八幡平、新日本百名山の七時雨山
 - ☆ ブナの二次林、焼走り、松川・松川溪谷
- ② きれいな水（全国名水百選、岩手山の伏流水が湧き出した金沢清水）
- ③ 美しい景観、四季折々の景観美

(2) 特色ある農林業資源

- ① 日本一の品質を誇るりんどう（国際ブランド化、平成 27 年度農林水産祭天皇杯受賞）並びにほうれん草（昭和 63 年農林水産祭天皇杯受賞）
- ② 八幡平牛、杜仲茶ポーク、生乳
- ③ 味噌、豆腐、やまぶどう
- ④ 安比塗（漆器工房、安代漆技術研究センター）

(3) 豊富な観光関連資源（自然体験、スキー、温泉、豊富な宿泊施設など）

- ① 十和田八幡平国立公園
- ② ウィンタースポーツの拠点（全国的に名高いスキーリゾート地）
- ③ 登山やトレッキング（国内を代表する 50km トレッキングコースなど）
- ④ 学習施設（松尾鉦山資料館、松尾八幡平ビジターセンター、森林ふれあい学習館など）
- ⑤ 直売所（市内 9 箇所、加工品）、地産レストラン
- ⑥ 豊富な湯量を誇る多彩な温泉
- ⑦ 豊富な宿泊施設
- ⑧ 観光体験（あけびづる細工、草木染め、そば打ちなど）、教育旅行
- ⑨ 潜在資源（産業遺産の松尾鉦山跡など）
- ⑩ 盛岡広域圏内で第 3 位の観光入込数（圏域の 2 割を占める）

(3) 地域の風土に根差した多様な歴史・文化・伝統芸能の継承

- ① 旧鹿角街道（文化庁歴史の道百選）
- ② 松尾鉦山露天掘跡地（経済産業省近代化産業遺産）、松尾鉦山資料館
- ③ 平笠裸参り（全国的にも例がない女性の荒行）
- ④ 浅沢神楽、兄川先祓い、横間虫追い祭りなどの伝統芸能

(4) 先進的な地熱発電や資源・エネルギー循環の取組み

- ① 日本最初の地熱発電所（松川地熱発電所）
- ② 地熱を活かした特産品開発等の取組み
- ③ 飼料・堆肥による循環型農業
- ④ 地域素材を活かした地産地消（直売所、学校、宿泊施設など）

(5) 県都盛岡市に隣接する立地条件の良さと持家取得のしやすさ

- ① 県都盛岡市に隣接
- ② 市内に東北自動車道の 3 つのインターチェンジ
- ③ 市内に J R 花輪線駅が 12 駅
- ④ 盛岡市や滝沢市と比べ持家が取得しやすい（価格の面や広い床面積など）

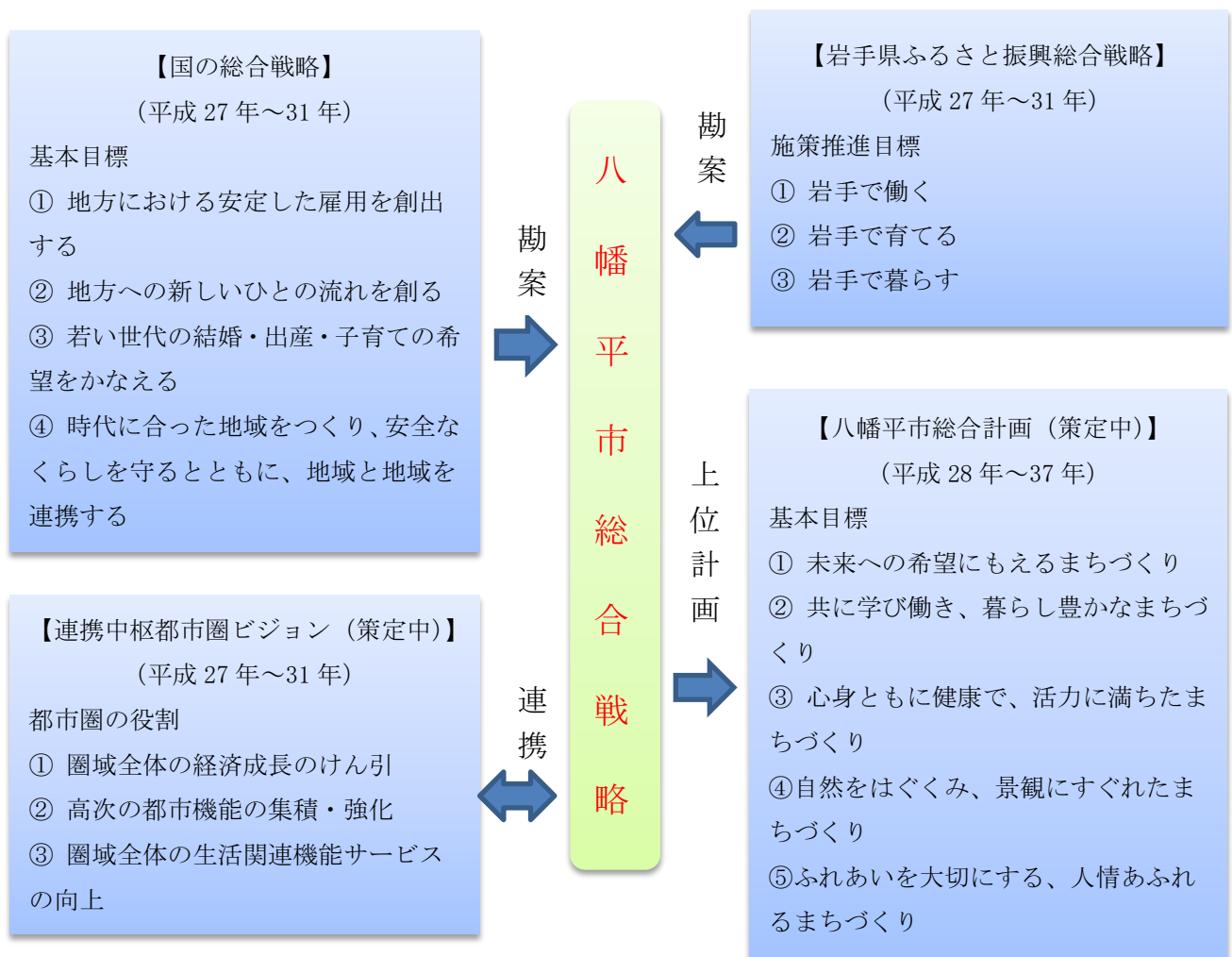
3 政策の基本目標

市総合戦略における政策の基本目標は、本章「1 人口回復に向けてのまちづくりの課題」及び「2 人口回復に向けて活かすべき本市の特性」を踏まえたうえで、国の総合戦略や岩手県ふるさと振興総合戦略を勘案し、また盛岡広域圏市町で構成する連携中枢都市圏形成において取りまとめる連携中枢都市圏ビジョンとの連携により、以下の4つの柱を掲げ、取り組んでいきます。

【八幡平市総合戦略の基本目標】

- ① 八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造
- ② 八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る
- ③ 八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む
- ④ 各地域の元気を活かしたコンパクトなまちづくりにより持続性を高める

【国・県の総合戦略及び連携中枢都市圏ビジョン並びに市総合計画との関係】



4 基本目標における基本的方向と数値目標

【基本目標①】

八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造

(基本的方向)

- (1) 八幡平市の豊かな自然の恵みを最大限に活かした、生きがい・創造の産業ブランドづくり
 - ☞ 八幡平市の個性を活かし、若者に夢と希望を与える創造的な八幡平ブランド育成の環境づくりを推進します。
- (2) 豊かな自然の恵みを暮らしの豊かさに活かした八幡平市の地域産業やライフスタイル（生活様式）の継承
 - ☞ 豊かな自然の恵みを暮らしの豊かさに活かした八幡平市の地域産業やライフスタイル（生活様式）の素晴らしさを発信するとともに、地域を学び、地域の誇りや愛着心の醸成を推進し、次代に継承します。

(数値目標)

指標名	基準値	H31 目標値
製造業製造品出荷額	(H25) 2,735 (百万円)	3,000 (百万円)
農業純生産額	(H24) 4,862 (百万円)	5,000 (百万円)
法人市民税額	(H26) 194 (百万円)	210 (百万円)

【基本目標②】

八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る

(基本的方向)

- (1) ホスピタリティ⁷あふれる癒しと健康のリゾート拠点づくり
 - ☞ 豊かな自然の恵みと、健康・スポーツ資源⁸を活かして、“癒しと健康”といった特色を打ち出して、広域的な集客力を目指す観光とリゾート拠点の形成に取り組みます
- (2) 自然の恵みの中でひとが輝く、心豊かに暮らせる故郷づくり
 - ☞ 豊かな自然の恵みに魅力を感じ、心豊かに過ごしたい人が集まる第2の故郷として、新たなひとを呼び込み、まちの活性化につながる取り組みを推進します。

(数値目標)

指標名	基準値	H31 目標値
観光客入込数	(H26) 2,354 (千人/回)	2,500 (千人/回)
観光宿泊者数	(H26) 449 (千人)	460 (千人)
転入率 (人口千人当たり)	(H26) 21.63 (人)	24.00 (人)

7 ホスピタリティ; 手厚いおもてなし。歓待

8 健康・スポーツ資源; 体育施設やトレッキングコース、健康とスポーツに関わる人材

【基本目標③】

八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む

(基本的方向)

- (1) 子どもたちや大都市等の若者・女性・子育て層が来て、住みたくなる定住促進の拠点づくり
☞ふるさと八幡平市への誇りと愛着を育み、女性や若者、子ども、子育て層が暮らしやすい定住環境の充実を図ります。
また、若者や女性が生きがいを感じ、パートナーを見つけられるような交流やイベント等の機会の拡大を図り、出会いや縁づくりを支援します。

(数値目標)

指標名	基準値	H31 目標値
出生数	(H26) 131 (人)	146 (人)
合計特殊出生率	(H25) 1.31	1.46

【基本目標④】

各地域の元気を活かしたコンパクトなまちづくりにより持続性を高める

(基本的方向)

- (1) 拠点となる地域の活性化と連携強化によるコンパクトなまちづくり
☞持続性の高いまちづくりに向けて、各地域の拠点や既存機能の集積等による活性化への取組みや、盛岡広域圏内での広域連携によるまちづくり課題への対応や資源循環の取組み等を進めます。
- (2) 市民や地域が輝く、協働のまちづくりの推進
☞市民が、地域内活動（交流や地域貢献活動など）に積極的に参加及び協力をするような取組みを強化し、各地域のコミュニティや絆、共助体制の強化を図ります。
- (3) 地方創生を活かした八幡平市プロモーション⁹の強化
☞地方創生を契機として、市民・地域企業・団体等の多様な主体と連携し、八幡平市の魅力を内外に積極的にPRしていきます。

(数値目標)

指標名	基準値	H31 目標値
福祉ボランティア団体登録会員数	(H26) 483 (人)	600 (人)
NPO 法人数	(H26) 11 (団体)	13 (団体)
コミュニティバス利用者数	(H26) 50 (千人)	52 (千人)
JR 花輪線市内有人駅 1 日当たり利用者数	(H25) 339 (人)	339 (人)

9 プロモーション; 宣伝や広報活動等により地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動

第4章 基本目標ごとの施策（プロジェクト）と重要業績評価指標（KPI）

基本目標① 八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造

プロジェクト1

八幡平市の農（みのり）と輝（ひかり）のブランド強化プロジェクト

本市の産業の魅力を若者等に一層発信するとともに、生きがいを感じる職場を強化していくため、平成27年度農林水産祭天皇杯を受賞した世界的ブランドである安代りんどうについて、より一層の生産・供給体制の強化を図ります。

また、若者・女性を中心とする起業支援や企業誘致を進めるとともに、地域資源を活かした地産地消や新たな特産品の企画・創作など、地域産業のブランド育成と付加価値化を促進していきます。

【主要施策】

- 1 世界的・広域的ブランドであるりんどう等の生産体制の強化（海外生産拠点拡大も含む）
- 2 工場適地や空き工場、空き家等を活用した若者や女性主体の就業・起業の拠点づくりと起業支援
 - (1) 創作工房、チャレンジショップ¹⁰等の整備
 - (2) 女性・若者向けの賃貸ファクトリー群の整備
 - (3) 共同加工施設等の整備
 - (4) 起業志民プロジェクトの推進
 - (5) 子育て支援型企業への支援強化
 - (6) 企業誘致に向けた工場適地の整備
- 3 創作イベントや地産地消の促進

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
企業誘致による企業立地数	(H26) 28(社)	31(社)
企業立地による雇用者数	(H26) 1,098(人)	1,150(人)
起業件数	—	3(件)
新規就農者数	—	35(人/5年間累計)
りんどう(切花)販売額	(H26) 1,067(百万円)	1,300(百万円)
ほうれんそう販売額	(H26) 424(百万円)	500(百万円)
UIターンの相談件数	(H26) 40(件)	100(件)

10 チャレンジショップ;商店街の空き店舗等を活用して、本格出店に向けた準備期間として一定期間出店の場を提供し、経営ノウハウの習得や消費者の反応を直に経験してもらうような起業家支援の取組みのこと。

プロジェクト 2

大学等連携による産業・雇用・人材強化プロジェクト

大学や金融機関等との連携により、地元企業のブランド開発や市場拡大、学生の地元就職や人材育成、起業・創業等の支援を強化していきます。

また、地元高校等との連携により、市内産業・企業の体験学習や創作体験等を通じて、地元高校への就学や地元就職の増加を促進していきます。

【主要施策】

1 大学等連携によるブランド育成・地元就職支援の体制づくり

- (1) ふるさといわて創造プロジェクト（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業¹¹⁾）へ事業協働機関として参画
- (2) 大学連携による研究、開発支援（商品、デザインの企画開発や広告、イベント等の支援）
- (3) 金融機関等との多様な機関連携による創造的な起業や創業を支援する体制づくり（資金、情報共有等の支援）
- (4) 海外見本市への出展支援
- (5) 地元企業への就職支援（企業学習、就職活動、インターンシップ¹²⁾や人材育成等の支援、地元企業と学生のマッチング支援）

2 地元高校と連携し、生徒が地元で輝ける環境づくり

- (1) 地元高校活性化の支援（スポーツ特待生獲得のための支援や教育メニュー拡充に対する支援、大学からの技術支援等）
- (2) 生徒主体のわが高校・わがまちPRツールの作成と発信、地元職業体験や地元大学体験と結果の感想リーフレットの作成、地元中学校との交流・体験機会づくりなど
- (3) 首都圏等の中学校からの宿泊・体験ツアーの募集と、結果の感想リーフレットの作成、首都圏等からの八幡平ふれあい短期留学生の募集など
- (4) 地元高校と地元企業の連携による就職機会の向上（例：共同による商品PRツールやパッケージデザイン・キャッチコピー、創作料理・加工品等のアイデア等の企画・提案など）

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
大学連携による市内企業との共同研究件数	(H26) 0(件)	3(件)
平館高校の生徒数	(H26) 249(人)	249(人)
平館高校県内就職率	(H26) 89.5(%)	90(%)

11 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業; 大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援する国の制度のこと。略称はCOC+。

12 インターンシップ; 学生が在学中に企業で短期間業務を体験する制度のこと。

プロジェクト3

地熱エネルギーを活かした地域活性化プロジェクト

本市の特色である地熱エネルギーを活かした地域活性化を図るため、地熱インフラを産業・観光振興ほか多面的に活用していくとともに、温泉とともに暮らせる魅力を強化していくことにより、定住や移住の促進につなげていきます。

【主要施策】

- 1 八幡平市における地熱エネルギー事業による地域経済循環、観光振興、移住の促進
 - (1) 分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープラン（総務省委託事業）に基づくプロジェクトの推進、合意形成（地熱温泉を基盤とした観光振興と定住促進による「温泉とともに暮らせる・働ける八幡平温泉郷」創出事業）

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
プロジェクトによる雇用の創出	—	17（人/累計）
地熱インフラ利用事業件数	(H26) 718(施設)	722（施設/累計）

プロジェクト4

農（みのり）と輝（ひかり）の職場アピールプロジェクト

地元学生の地元就職やU I ターン等の促進を図るため、学校・市民・企業等と連携しつつ、市内の産業・企業に魅力や生きがいを感じられるような紹介ツールの強化や、小さい頃からの学習・体験機会の拡充を図るとともに、八幡平市の様々な魅力を発信・体験できるような取組みを推進していきます。

【主要施策】

- 1 地域職場学習プログラムの強化
- 2 インターンシップ制度の充実（職場以外の産業やまちの紹介、交流の強化）
- 3 魅力ある職場の紹介ツール作成（地元企業や職人・商品、先輩のライフスタイル、各種支援制度等の魅力）
- 4 学校や家庭との連携による“八幡平市の魅力を満喫する学習プログラム”の強化
- 5 市民との協働による“八幡平市の魅力を満喫する学習プログラム”の企画及び実施

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
学習プログラムの企画・実施件数	—	2（件）

基本目標②

八幡平の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る

プロジェクト5

健康リゾート強化プロジェクト

多彩な健康関連資源（自然、温泉、健康食材）を活かし、健康志向に対応した観光レクリエーション・宿泊・飲食等が多面的に楽しめるような観光リゾート地としての機能強化と付加価値化を図ることにより、観光交流人口や宿泊客の増大及び健康関連産業の振興を図ります。

また、市民も日常的に健康増進に取り組むような環境や仕組みを強化し、健康寿命の増進を図ります。

【主要施策】

- 1 健康運動、温泉、健康食等の滞在型観光パッケージの強化
- 2 健康増進関連商品の開発と提供の促進
 - (1) 地域資源を最大限に活かした健康料理、飲料、調味料、アロマ、美容等の様々な商品や特産品の企画・開発
 - (2) 市内関連施設連携によるモデル商品又は特産品提供の体制づくり（アンテナショップ¹³を含む）
 - (3) 健康、創作レストラン開業支援（空き家等活用）
- 3 健康増進活動誘発の仕組みづくり（健康づくりマイレージ¹⁴事業、健康活動誘発型金融商品など）
- 4 健康志向を発展させた新たな取組みの強化
 - (1) 地域資源を活かした美味しい病院食の導入
 - (2) ペット受入れ観光地としての環境整備やペットセラピー¹⁵への取組み
- 5 まちなかの健康増進環境の充実
 - (1) 花を活かした健康散策路の整備
 - (2) コミュニティセンター等の活用による健康学習・測定・体操等の健康サロンづくり

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
健康食等の滞在型観光パッケージ事業の企画・実施件数	—	2（件）

13 アンテナショップ；試験的なメニューの販売など、顧客ニーズを把握するために実験的に開設される店舗のこと。

14 マイレージ；サービスの利用規模に応じてポイントを顧客に還元する仕組みのこと。

15 ペットセラピー；動物（ペット）との触れ合いを通じて人々の心を癒す取組みのこと。

プロジェクト6

広域スポーツイベント・合宿の拠点づくりプロジェクト

多彩な競技用スポーツ施設や、外国人にも人気の高い冬季スポーツのメッカとしての特性を活かし、スポーツ体験カリキュラムの充実や、広域スポーツイベントや合宿の誘致拡大を図ります。

また、合宿・スポーツ関連施設や豊かな自然を活かし、大学のゼミや研究フィールドの提供や学会等の誘致を進め、利用人口の拡大を図ります。

【主要施策】

- 1 冬季スポーツ体験カリキュラムの充実
- 2 広域連携による国際・広域スポーツイベント誘致や、スポーツ合宿の強化等による通年入込み数の増大
- 3 大学のゼミ・研究フィールドの提供や学会等の誘致

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
スポーツ関係宿泊者数	(H26) 29,812 (人)	33,000 (人)
大会開催数	(H26) 6(回)	10 (回)

プロジェクト7

観光客もてなし体制強化プロジェクト

観光交流人口の増大に向けては、リピーター拡大を図るとともに、特に入込み増大が期待される外国人への付加価値化を図るためにも、外国人向け案内サービスや、有用な情報を提供するモバイル端末対応サービスの強化、さらには、アフターケアやリピーターへの恩典付与など、観光客へのもてなしサービスの強化を図ります。

【主要施策】

- 1 外国人向け案内サービスの強化
 - (1) Wi-Fi 環境、外国語案内ツールやサイン整備
 - (2) 外国人向けの観光・体験・交流・宿泊パッケージの魅力強化
 - (3) 訪日外国人を八幡平市へ誘導するための旅行業者等への助成や花巻空港からの二次交通の充実
- 2 モバイル端末対応サービスの強化
 - (1) 対応サイト強化
 - (2) 様々な情報提供、恩典付与サービス等の強化
- 3 アフターケアやリピーター恩典等の充実

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
外国人宿泊者数	(H26) 22,364 人	30,000 (人)
市内インターチェンジ利用台数	(H26) 1,774(千台)	1,900 (千台)

プロジェクト 8

観光マネジメント体制強化（日本版DMO¹⁶）による教育旅行活性化プロジェクト

観光交流人口の増大とともに、本市の魅力をもっと有効に伝え、U I ターン等につなげていくためには、地域資源を活かしつつ、関係者と連携した魅力ある観光・旅行のメニューづくりと、感動体験パッケージの提供を図っていく体制づくりが重要であり、新たな組織づくりと教育旅行等の活性化を進めていきます。

【主要施策】

- 1 関係者連携のもと、教育旅行等メニューづくりを実践する組織づくり（仮称・観光まちづくり実践倶楽部）
- 2 地域資源を活かした感動体験メニューづくりの企画・実施による教育旅行等需要の拡大

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
教育旅行客入込数	(H26) 28,511 (人)	30,000 (人)
教育旅行受入校数	(H26) 263 (校)	280 (校)

プロジェクト 9

日本版CCRC（生涯活躍のまち）構想¹⁷プロジェクト

八幡平市の豊かな自然の恵みの中で、やすらぎと生きがいある暮らしを送るライフスタイルを活かし、健康時から継続的なケアの提供により、大都市等からの心豊かに暮らせる高齢者住宅の受け皿づくりに取り組みます。

また、地元高齢者等との交流や新たな創作活動の推進、低未利用地・空き家等の有効活用、健康・福祉ビジネスの振興など、地域の活性化に結びつく取組みとしていきます。

【主要施策】

- 1 健康時から継続的なケアを提供する、心豊かに暮らせる高齢者住宅の受け皿づくり
- 2 家庭菜園での収穫や地域資源を活かした創作活動などの移住者の生き生きとした暮らしの支援
- 3 移住者による多彩な交流や、健康維持活動、地域貢献活動等の促進
- 4 大学連携による生涯学習及び多世代交流支援
- 5 空き家等を活用した施設展開の拡大
- 6 健康ビジネスの起業あるいは誘致による地元雇用の確保

16 DMO; Destination Marketing/Management Organization の略。地域内の官民協働や広域的な地域連携により、地域全体の観光マネジメントを一本化し、地域自らが来訪者を集める事業推進主体のこと。

17 日本版CCRC(生涯活躍のまち)構想;東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりのこと。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
市外からの移住者数	—	20（人/累計）
お試し居住参加者数	—	48（人/累計）
日本版 CCRC（生涯活躍のまち）構想プロジェクトによる雇用創出数	—	5（人/累計）

※指標は、日本版CCRC構想取り組みによる成果

基本目標③ 八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む

プロジェクト 10

若者等の定住促進プロジェクト

若者等の定住促進を図るため、拠点地区周辺の環境整備や空き家等の活用を図りつつ、若者や女性、子育て層、市内通勤者等が住みやすい住宅の提供や、魅力ある住宅の整備、居住・移住の支援を進めていきます。

また、一時居住や季節居住等のお試し居住を促進し、定住促進につなげていきます。

【主要施策】

- 1 大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備の推進
- 2 空き家（中古住宅）、空き別荘、未利用教員住宅等を活用した低廉な住宅供給
- 3 女性や若者、子育て層が住みやすい定住団地の整備
- 4 ひとり親家庭、単身者に対する住まいの支援
- 5 魅力ある住宅の整備（菜園付き、街並み景観美化、憩いの交流空間確保など）
- 6 若年層、新婚、子育て世代の居住支援（取得費ローン、家賃、引越費用等の一部支援など）
- 7 市外からの通勤者の移住対策
- 8 一時居住、季節居住等のお試し居住の促進

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
市定住交流サイトアクセス数	(H26) 2,360(件)	3,000(件)
市外からの通勤者の転入者数	—	30(人)

プロジェクト 11

子育て支援サポートプロジェクト

出生率の向上とともに子育て層・子育て希望層の居住継続・移住促進を図るため、妊娠・出産・子育てに係る総合的な支援、子育ての安心や楽しさを共有し支えあう仕組みづくり、自然や絆等を活かした教育、親子で安心して遊び・交流できる公園など、子育てしやすい環境の充実に努めます。

【主要施策】

- 1 医療費助成の拡大（中学生まで）
- 2 保育士等の確保支援
- 3 マタニティライフサポートの充実（妊娠から出産までの総合的な支援の拡充など）
- 4 子育て支援組織や体制の充実（乳児の預かり保育、保護者が望むきめ細かい保育サービスの充実）
- 5 電子ツールを活用した子育てに係る便利・安心情報の発信と交流促進（メールマガジン¹⁸、

¹⁸ メールマガジン；一定のテーマに関心のある人が登録し、発信者が定期的にメールで情報を流し購読できるようなメールの配信システムのこと。

スマートフォンアプリ等による健診・子育てイベント等通知や交流促進など)

- 6 自然や絆等を活かした、ゆとりと魅力ある教育プログラムの充実（地域学習、地域住民による講義など）
- 7 既存公園・公共施設等を活かした親子で安心して遊び・交流できる公園環境の充実（芝生広場、遊具、屋内交流空間など）

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
保育所待機児童数	(H26) 6 (人)	0 (人)
保育士新規確保数	—	2 (人)

プロジェクト 12

出会い・縁づくりサポートプロジェクト

婚姻率の向上とともに、若者・女性の定住・流入を促進するため、出会い・縁づくり・結婚の活性化を図るとともに、結婚の安心や楽しさを共有し支えあう仕組みづくり、若者主体のイベントの活性化を図ります。

【主要施策】

- 1 出会い、お見合い集団イベントの活性化
- 2 いきいき岩手結婚サポートセンターの運営への参画
- 3 縁づくりをテーマとする観光・スポーツ等のイベントパッケージの強化
- 4 地域の魅力学習ツール・プログラムの強化
- 5 若者主体のイベント企画・開催
- 6 電子ツールを活用した結婚ライフに係る各種情報の発信と交流促進（メールマガジン、スマートフォンアプリ等による結婚生活の楽しさや便利情報の発信や交流促進など）

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
出会、お見合い集団イベント参加者数	(H26) 90 (人)	120 (人)
イベントを通じた婚姻組数	(H26) 1 (組)	3 (組)

基本目標④

各地域の元気を活かしたコンパクトなまちづくりにより持続性を高める

プロジェクト 13

地域拠点（小さな拠点）等活性化プロジェクト

各地域の活力の維持・増進を図るため、各地域の拠点施設や機能集積を活かし、賑わい・安心機能の強化や、既存公共施設の適正な管理と利活用促進、拠点地区等の魅力ある環境の充実等を図ります。

【主要施策】

- 1 大更駅周辺賑わい創出事業の推進
- 2 西根新病院移転改築を活かした保健・医療・福祉連携の充実
- 3 既存公共施設の利活用促進と管理の適正化
- 4 その他、各地域のコミュニティセンターを活かした魅力ある環境の充実

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
JR花輪線大更駅1日当たり利用者数	(H25) 275(人)	275(人)
広域生活路線バス（県北バス）利用者数	(H26) 348(千人)	350(千人)

プロジェクト 14

自然の恵みと共生する資源循環型まちづくりプロジェクト

豊富な自然環境や資源を活かし、自然の恵みと共生する資源循環の取組みを一層進めるため、再生可能エネルギー¹⁹の拡充と広域連携による地産地消の取組みや、省エネルギーの取組みを強化します。

【主要施策】

- 1 再生可能エネルギー、省エネルギーの拡充
- 2 盛岡広域圏内市町における再生可能エネルギー地産地消への取組み

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	基準値	H31 目標値
再生可能エネルギー発電量	41,270(kw)	118,368(kw)

¹⁹ 再生可能エネルギー；自然から取り出すことができ、一度利用しても再生可能な枯渇しないエネルギー源(水力、バイオマス、太陽光、太陽熱、風力、地熱、波力など)のこと。

プロジェクト 15

八幡平市全国プロモーション・プロジェクト

人口減少に伴う都市間競争の激化の中で、本市の競争力を高めていくため、まちの戦略や魅力・強みを内外に積極的にPRしていく取組みを強化していきます。

【主要施策】

- 1 プロモーション²⁰ツール作成(まちの魅力や戦略的なまちづくり方向をわかりやすくPRする、見たくなる冊子・動画など)

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	基準値	H31 目標値
市ホームページアクセス数	(H26) 2,360 (件)	3,000 (件)
動画視聴回数※	(H26) 25(万回)	35 (万回)

※動画視聴回数は、八幡平FAN視聴回数の1年当たりの平均回数

プロジェクト 16

協働のまちづくり活性化プロジェクト

地元住民・企業等が、各地域を活性化する取組み(既存施設の利用促進、イベントへの参加促進、自助・共助や地域貢献活動の促進など)に、できることから主体的に参加し、コミュニティや絆、愛着や誇り、生きがい等を育てていくような協働の取組み・活動を活性化していきます。

【主要施策】

- 1 上記全ての施策に関連した地域住民等の参加促進により、各地域における市民等の活動量(交流や地域貢献活動など)を増大(⇒活動人口の増大)(プロジェクトの実現や、その後の企画・運営・地域活性化への拡大展開、関連施設利用やイベント等への参加促進、地域貢献活動への参加など、できることから協働の取組み・活動を活性化)

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	基準値	H31 目標値
地域計画策定数	(H26) 4 (地域)	12 (地域)
コミュニティセンター利用者数	(H26) 121 (千人)	146 (千人)

²⁰ プロモーション;ここではシティプロモーションのことを指す。シティプロモーションとは、市のイメージを高め、知名度を向上させる活動をいう。

プロジェクト 17
盛岡広域連携強化プロジェクト

盛岡市等との広域連携により、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上など、圏域が抱える共通課題に対して、有効な連携事業に取り組んでいきます。

【主要施策】

1 (仮称)盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン²¹に掲げる都市圏の役割に基づく盛岡市等との連携協約により、連携事業に取り組む。

(都市圏ビジョンに掲げる都市圏の役割)

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

- ① 国の成長戦略実施の体制整備
- ② イノベーション支援、戦略産業の育成
- ③ 地域経済のすそ野拡大
- ④ 戦略的な観光施策

(2) 高次の都市機能の集積、強化

- ① 高度な中心拠点の整備、広域的公共交通網の構築

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ① 生活機能の強化
- ② 結びつきやネットワークの強化
- ③ 圏域マネジメント能力の強化

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	基準値	H31 目標値
農業純生産額		
林業純生産額		
食料品製造業の1人当たり付加価値額		
観光客入込数		
外国人観光客入込数		
開業率		
高等教育機関卒業生の就職先における地元定着率		
新規雇用者数		
女性の就業率		

調整中です

※指標は、盛岡広域圏全体の数値

21 盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン;盛岡広域圏が今後も中長期にわたり一定の圏域人口を有し、社会経済を発展させ、住民にとって暮らしやすい地域となるために、圏域内の各市町が連携する取組みの方向性と内容を定めるもの

(参考資料)

1 総合戦略における平成27年度プロジェクト構成事業一覧

この事業一覧は、平成27年度予算及び平成26年度補正予算に計上した国の地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の交付決定を受けて取り組んでいる事業を掲載しました。

該当するプロジェクト	事業名	予算額(千円)	交付金充当額(千円)
7	訪日外国人誘客促進事業	25,000	23,000
	外国人誘客観光案内素材多言語化事業	5,000	4,500
	広告宣伝媒体を活用した観光振興事業	1,102	1,000
	起業志民プロジェクト事業	20,795	17,000
9	八幡平市版CCRC推進事業	22,834	19,500
合計	5事業	74,731	65,000

2 数値目標及び重要業績評価指標（KPI）一覧

【基本目標で定める数値目標】

	指標名	基準値	H31 目標値	基準値出典
1	製造業製造品出荷額	H25 2,735 (百万円)	3,000 (百万円)	・工業統計表（経産省大臣官房調査統計グループ）
2	農業純生産額	H24 4,862 (百万円)	5,000 (百万円)	・市町村民所得推計（岩手県政策地域部） （純生産額とは）総生産額から固定資本（減価償却・税等）を差し引いたもの
3	法人市民税額	H26 194 (百万円)	210 (百万円)	市一般会計決算書
4	観光客入込数	H26 2,354 (千人/回)	2,500 (千人/回)	市
5	観光宿泊者数	H26 449 (千人/回)	460 (千人/回)	市
6	転入率（人口千人当たり）	H26 20.57（人）	24.00（人）	市住民基本台帳
7	出生数	H26 131（人）	146（人）	岩手県人口移動報告年報
8	合計特殊出生率	H25 1.31	1.46	岩手県環境保健研究センター
9	福祉ボランティア団体登録会員数	H26 483（人）	600（人）	市社会福祉協議会
10	NPO法人数	H26 11（団体）	13（団体）	市
11	コミュニティバス利用者数	H26 50（千人）	52（千人）	市
12	JR花輪線市内有人駅1日当たり利用者数	H25 339（人）	339（人）	JR東日本

【施策（プロジェクト）で定める重要業績評価指標（KPI）】

	指標名	基準値	H31 目標値	基準値出典
1	企業誘致による企業立地数	H26 28 (社)	31 (社)	市 (数値は年度末現在)
2	企業立地による雇用者数	H26 1,098 (人)	1,150 (人)	市 (数値は年度末現在)
3	起業件数	—	3 (件)	市
4	新規就農件数	—	35 (人)	市 (目標値はH27からの累計)
5	りんどう (切花) 販売額	H26 1,067 (百万円)	1,300 (百万円)	市
6	ほうれんそう販売額	H26 424 (百万円)	500 (百万円)	市
7	UIターン相談件数	H26 40 (件)	100 (件)	市
8	大学連携による市内企業との共同研究件数	H26 0 (件)	3 (件)	市
9	平舘高等学校の生徒数	H26 249 (人)	249 (人)	平舘高等学校
10	平舘高等学校生徒県内就職率	H26 89.5 (%)	90 (%)	平舘高等学校
11	プロジェクトによる雇用の創出	—	17 (人)	市 (目標値はH27からの累計)
12	地熱インフラ利用事業件数	H26 718 (施設)	722 (施設)	市 (数値は年度末現在)
13	学習プログラムの企画・実施件数	—	2 (件)	市
14	健康食等の滞在型観光パッケージ事業の企画・実施件数	—	2 (件)	市
15	スポーツ関係宿泊者数	H26 29,812 (人)	33,000 (人)	市観光協会
16	スポーツ関係大会開催数	H26 6 (回)	10 (回)	市観光協会
17	外国人宿泊者数	H26 22,364 (人)	30,000 (人)	市
18	市内インターチェンジ利用台数	H26 1,774 (台)	1,900 (台)	東日本高速道路㈱東北支社盛岡管理事務所
19	教育旅行客入込数	H26 28,511 (人)	30,000 (人)	市
20	教育旅行受入校数	H26 263 (校)	280 (校)	市
21	市外からの移住者数	—	20 (人)	市 (数値は年度末現在)
22	お試し居住参加者数	—	48 (人)	市 (数値は年度末現在)
23	日本版 CCRC (生涯活躍のまち) 構想プロジェクトによる雇用創出数	—	5 (人)	市 (数値は年度末現在)
24	市定住交流サイトアクセス数	H26 2,360 (件)	3,000 (件)	市
25	市外からの通勤者の転入者数	—	30 (人)	市
26	保育所待機児童数	H26 6 (人)	0 (人)	市
27	保育士新規確保数	—	2 (人)	市
28	出会、お見合い集団イベント参加者数	H26 90 (人)	120 (人)	市
29	イベントを通じた婚姻組数	H26 1 (組)	3 (組)	市
30	JR花輪線大更駅1日あたり利用者数	H26 275 (人)	275 (人)	JR東日本
31	広域生活路線バス (県北バス) 利用者数	H26 348 (千人)	348 (千人)	岩手県北バス
32	再生可能エネルギー発電量	H26 41,270 (kw)	118,368 (kw)	市
33	市ホームページアクセス数	H26 2,360 (件)	3,000 (件)	市
34	動画視聴回数	H26 25 (万回)	35 (万回)	ユーチューブ
35	地域計画策定数	H26 4 (地域)	12 (地域)	市
36	コミュニティセンター利用者数	H26 121 (千人)	146 (千人)	市 (参考値 H25 91 千人)

